

近世佛教 史料と研究 総目録(二)

第四卷第一号(一九七九・四)

幕藩制仏教論	大桑
社寺争論と神仏関係	梅谷
永照寺西吟著『客照問答集』	平田
慶証寺玄智記『福井省所日黄簿』	早島
幕末・維新期の国家と仏教	福間
栗津家所蔵『申物帳』について	上場
近世仏教史研究の動向	西脇
直純寺曼碩筆『崎水家訓』	星野
佐賀藩における禅宗教団の展開	竹貫
第四卷第三号(一九八〇・五)	元貞
『大悲円満国師紀年錄』	谷端
「幕藩制仏教論」の検討(上)	昭夫
千葉乗隆著『真宗教団の組織と制度』	有毅
第四卷第四号(一九八〇・九)	大桑
本末制度特集	齊
問題提起	光超
浄土宗の本末関係	中井
本末関係の形成について	竹貫
元勝	真孝

—禅宗を素材として—
【遊行派末寺帳(仮題)】の問題

点 梅谷 繁樹

本願寺教団における本末制法度

西脇 大桑 齊

総括
—本末制と寺檀制・身分割—

中世末期における三河上宮寺の
本末関係

本末関係

第五卷第一号(一九八一・三)

近世本山派修驗の本末関係

豊島 青木

—院家先達伽耶院の
霞支配を通して—

富田本照寺文書仮題『良如宗主
坊官書翰集』

日野 草野

『願正寺猶華雜記』
の諸問題

圭室文雄、大桑齊編『近世仏教
の諸問題』

柏原 昭正

米村竜治著『殉教と民衆—かく
れ念仏考—』

星野 元貞

『天神名号について』

千葉 乘隆

—真宗における神仏関係の一側面—

森龍吉の史学とその背景

星野 鈴木

森龍吉君と同時代の人々

黒田 星野

森さんの手紙について

元豊 宗憲

—若き学徒への遺言—

泉州佐野明敵寺覺順撰『崑崙実

録』
実成院仰誓の年譜及び著述目録

上原 康夫

第五卷第四号(一九八二・八)

西脇 大桑 齊

近世仏教と地域・民衆特集
—八〇年度夏期セミナー報告—

民衆史としての地域仏教史

大桑 齊

近江湖東地域における真宗寺院の存在形態
—滋賀県八日市市をモデルとして—

—その経済的機能を中心に—

近世都市寺院

上場 顕之

—大阪・京都・大津—

近世の関東新義真言宗教団の本末制度

宇高 良哲

—武藏吉見息障院文書を中心として—

総括 近世仏教と地域・民衆・児玉 誠

—故竹田聰洲・森竜吉両氏

の業績の継承、発展をめざして—

第六卷第一号(一九八三・三)

紫衣事件と朝幕関係

村井 早苗

—沢庵・玉室・江月を中心にして—

日溪法霖の教学的課題

平田 厚志

遊行上人の秋田藩廻國について(上)

—その行程—

佐々木令信

洛東専念寺隆円講説『誘蛙談(禪神道評判)』